

2016年6月28日
 イオン株式会社

イオン チアーズクラブ × オイスカ

フィリピン、パプアニューギニアの「子ども親善大使」と日本の子どもたちが交流 環境問題についてともに考えます

イオンは7月3日（日）、イオン船橋店を拠点として環境活動に取り組む「イオンチアーズクラブ※1」の子どもたちの活動の一環として、公益財団法人オイスカ※2（以下、オイスカ）が主催する交流事業に参加し、フィリピン、パプアニューギニアの子どもたちとともに環境をテーマに相互学習や交流を行います。

このたび「イオン チアーズクラブ」の子どもたちが参加するのは、オイスカが世界各地で子どもたちの植林活動や環境教育活動を支援し「ふるさとの未来のために貢献する力」を育むプログラム、「子供の森」計画の25周年を記念した「子ども親善大使交流事業」です。同計画の参加国のうち、アジア地域と太平洋地域のそれぞれの代表としてフィリピン、パプアニューギニアの子どもたちが来日し、イオン船橋店で活動する子どもたちとともに、環境に関するワークショップや交流を行い、環境という国境を越えた課題に対し理解を深めます。

イオンとオイスカは、2012年の国連持続可能な開発会議（リオ+20）の際にも、自然との共生に向けた共同宣言や植樹活動、討論会を共催するなど、環境に取り組む子どもたちの交流に力を入れています。

イオンはこれからも、次代を担う子どもたちの「夢のある未来」の実現に向けて、さまざまな環境活動に取り組んでまいります。

記

日 程 2016年7月3日（日）9：00～12：00
 場 所 イオンモール船橋 会議室（千葉県船橋市山手1-1-8）
 参加人数 オイスカのプログラム「子供の森」計画に参加している小中学生 5名
 （予定） （内訳：フィリピン 3名、パプアニューギニア 2名）
 イオン船橋店の「イオン チアーズクラブ」の子どもたち 21名
 内 容 オリエンテーション（各国の文化や言葉に関するクイズ、挨拶ゲーム）
 （予定） オイスカ「子ども親善大使」による各国の環境問題や活動報告
 「イオン チアーズクラブ」の活動報告
 ワークショップ～動物になって考えよう～
 （動物の視点でそれぞれの国の環境や人間との関係を考え共有する
 ワークショップ）
 ※終了後、イオン船橋店を環境視点で見学する「エコエコ探検隊」を実施

以上

※1 イオン チアーズクラブ：

公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。全国のイオン店舗を拠点として、地域の子どもたちが月に1回程度集まり、イオン各店舗の従業員のサポートのもと、環境をテーマにさまざまな活動を実施。現在、全国約440クラブ、約7,900名が参加しています。本年度のテーマは「動物」。今回のワークショップにも、そのテーマが反映されています。

※2 公益財団法人オイスカ(OISCA)：

オイスカは国連承認の国際協力NGOで、1961年の設立以来、アジア・太平洋地域の開発途上国を中心として、農林業開発、環境保全活動、人材育成を推進しています。1991年にスタートとした「子供の森」計画は、子どもたちの学校や地域で行う植林活動や環境保全活動を支援し、実践活動や環境教育を通して、子どもたちの「自然を愛する心」や「緑を大切にしたい気持ち」を育みながら地球緑化を進めるプログラムです。現在、36カ国4,800校を超える学校が参加しています。